

## 令和5年度学校関係者評価委員会

1. 開会・資料確認
2. 学校長挨拶
3. 令和4年度実績と評価  
令和4年度自己点検・自己評価結果説明・審議
4. 質疑応答
5. 令和5年度学生支援トピックス
6. その他
7. 意見聴取
8. 閉会



社会医療法人 母恋  
日鋼記念看護学校

令和5年12月6日(水)

# 1年間のあゆみ

4/8 入学式

10/7 宣誓式

11/5 推薦入学試験

1/10・11 一般前期入学試験

1/25 卒業認定会議

2/12 第112回看護師国家試験受験

3/3 卒業式

3/7 一般後期入学試験

3/24 第112回看護師国家試験合格発表

3/28 単位認定会議



# 令和4年度実績と評価

## 項目

### 1.経営の安定化を図る

在籍者数・入学者数・職員適正人員・経営収支

### 2.経営基盤の整備

学生募集活動・就職進学状況

### 3.学習環境の整備

施設管理・感染対策(病院と連携)・修学支援(経済面)

### 4.教育活動の質の向上

授業調整・教員の研修・研究発表

# 1.経営の安定化を図る

目標値	結果
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 在籍者数190名</li><li>・ 入学者数65名以上</li><li>・ 休学</li><li>・ 退学</li><li>・ 経常収支</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 在籍者数196名</li><li>・ 入学者数68名</li><li>・ 休学 2名（2年生）</li><li>・ 退学 2名（3年生・2年生*） *休学後退学へ</li><li>・ 令和4年度は、Wi-Fi環境整備、LED化工事を行ったため、収支はマイナスとなったが、教育環境が整ったことで、電子テキストの導入ができデジタル化が進んだ。またLED化は、経費削減につながる設備投資であり今後の収支の安定に資するものである。</li></ul>

# 令和4年度在籍総数190名以上

令和5年3月 在籍総数 196名

1年生 第35期生68名(男性12名)  
(社会人7名)

2年生 第34期生62名(男性10名)  
(社会人3名)

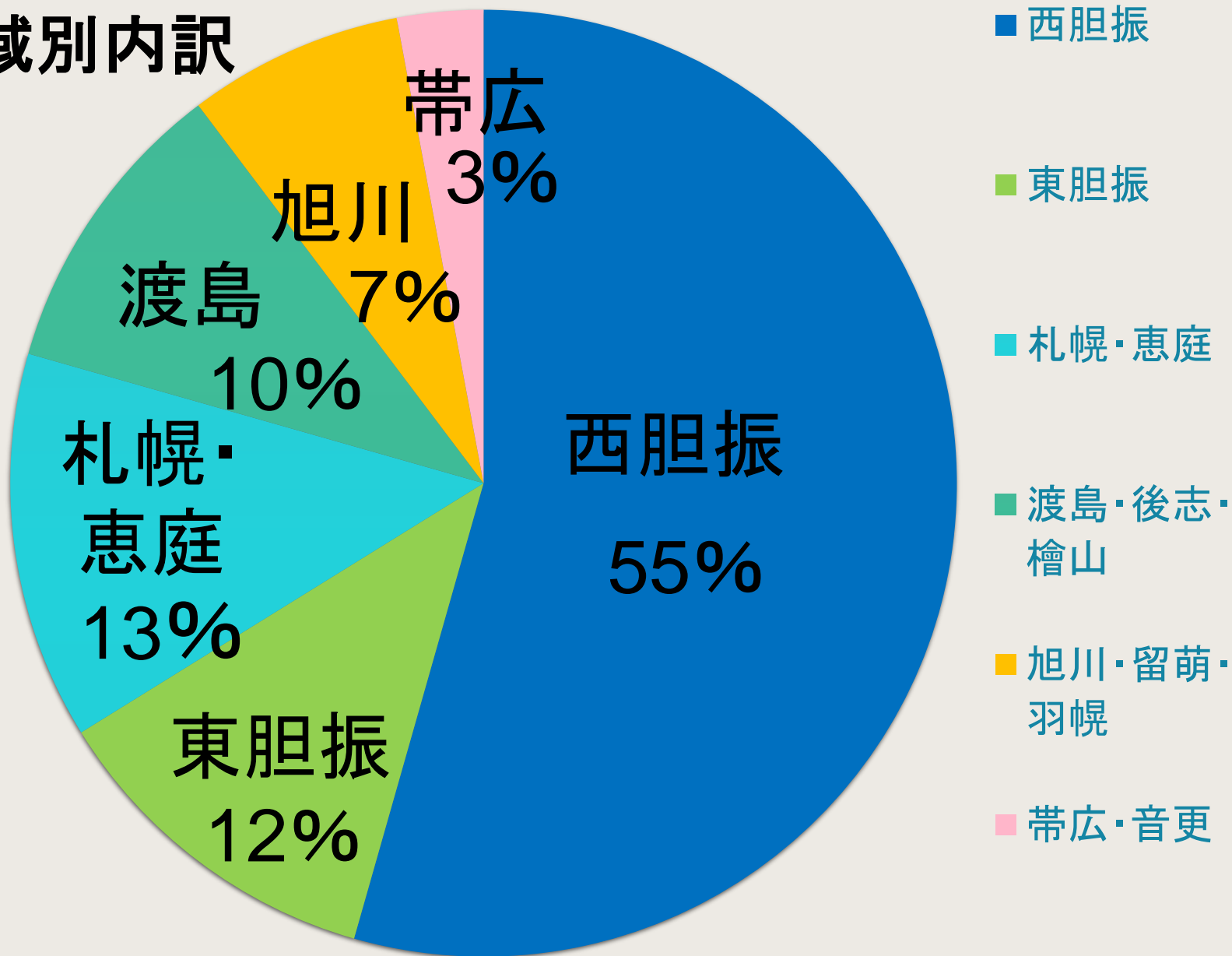
3年生 第33期生66名(男性8名)  
(社会人1名)

# 受験者・入学者動向

入学 試験	令和2年度 33期生	令和3年度 34期生	令和4年度 35期生	令和5年度 36期生
推薦・ 社会人	受験者 40名 入学者 33名	受験者43名 入学者37名	受験者 37名 入学者 36名	受験者 44名 入学者 36名
一般 (前期)	受験者 77名 入学者 28名	受験者 57名 入学者 22名	受験者 48名 入学者 27名	受験者 33名 入学者 18名
一般 (後期)	受験者 16名 入学者 7名	受験者 20名 入学者 4名	受験者 27名 入学者 5名	受験者 3名 入学者 2名
入学者数	68名	63名	68名	61名



# 令和4年度入学生 地域別内訳



# 組織人員の内訳

- 学校長(専任)
- 専任教員 12名(アルバイト1名含む)
- 実習指導教員 2名(職員1名、パート1名)
- 事務 2名(事務長、事務員1名)



## 2. 経営基盤の整備

### 1. 学生募集活動の推進

#### ① 高校訪問及び社会人志願者への広報活動の拡充

- ・ 高校訪問14校、進学相談会10回、動画による学校紹介1校、社会人対象進学説明会

- ・ webによるオープンスクール(2回)

学生作成の動画による学校紹介や質疑応答 参加者 53名

- ・ 個別の学校見学会開催

個別対応43名(西胆振30名、他13名)

#### ② 同窓会組織の活発化 ホームページ上に「同窓会だより」開設

# 西胆振地域の看護学校における課題

## <西胆振地域の現状>

18歳人口の減少、室蘭の人口減少  
札幌への流出、大学進学者の増加

## 西胆振入学者の減少

市立室蘭看護専門学院 44名(定員80名)

伊達赤十字看護専門学校 R3年度募集停止

R5年度から  
定員50名  
入学者48名

## \*東胆振地域

王子総合病院附属看護専門学校 R3年度募集停止

苫小牧看護専門学校 R4年度定員80名へ増員

入学者  
R4年度71名 / R5年度55名

## 2.経営基盤の整備

### 2.看護師国家試験合格率向上:

各学年の年間計画に基づく国家試験対策

3年生: 模試9回、業者集中講座5回、教員による補講、模試低得点者への個別指導・面談、長期休暇時の補講

2年生: 模試3回、業者集中講座3回、模試解き直し指導、教員作成問題、模試低得点者への個別指導・面談

1年生: 模試1回、「解剖生理学ポイントノート」を活用し講義前後に学習、その成果の提出・指導、解剖生理学小テストの反復、自己学習方法未獲得者への個別指導・面談

# 国家試験合格率の推移

回	受験者数	全国 合格率	当校 合格率
112	58,152	90.8	97.1
111	59,344	91.3	95.1
110	59,769	90.4	92.3
109	65,569	89.2	92.1
108	63,603	89.3	95.6

## 2.経営基盤の整備

### 3.就職・進学状況(令和4年度卒業生66名の内訳)

# 令和4年度就職・進学状況



## 就職状況

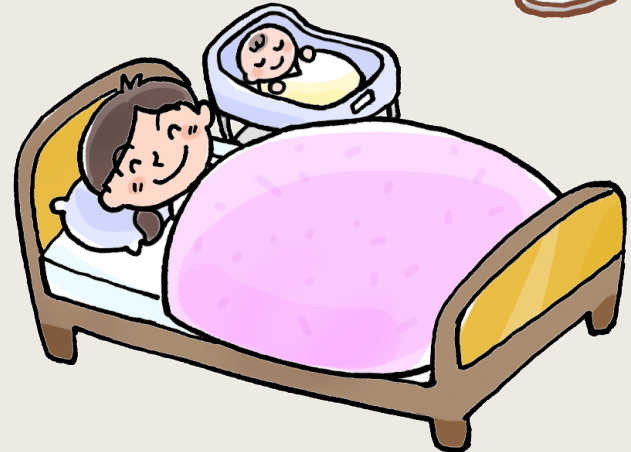
- ・当法人：日鋼記念病院38名、天使病院（札幌）4名
- ・実習施設：製鉄記念室蘭病院2名、JCHO登別病院1名  
三愛病院1名
- ・他施設：札幌東徳洲会病院2名、JCHO札幌北辰1名  
札幌北楡病院1名、西円山病院1名、  
イムス札幌消化器中央総合病院1名  
札幌ハートセンター1名、済生会小樽病院1名  
国立帯広病院1名、名寄市立病院1名、  
千歳豊友会病院1名、日高徳洲会病院1名、  
静内石井病院1名、イムス東京葛飾総合病院1名



# 令和4年度就職・進学状況

## 進学状況(助産学科4名)

- ・茨木県立中央看護専門学校 助産学科 2名
- ・あびこ助産師専門学校(千葉県) 1名
- ・洛和会京都厚生学校助産学科 1名





# 3. 学習環境の整備

- 校舎の整備及び施設管理：施設管理課との連携(Wi-Fi環境整備、LED化工事等)
- 感染対策：感染制御室との連携、感染対策ガイドライン(学内・臨地実習)
- 健康管理：学校医、健診センター及び臨床心理科との連携
- 遠隔授業の推進：講師の協力、システム総括室との連携
- 実習期間の短縮と日程変更：実習施設との連携
- 学内実習と臨床の場での実習：実習施設との連携
- 地域在住患者ボランティア協力による授業の充実  
(看護統合演習Ⅱ・基礎看護学実習等)
- 高等教育修学支援制度の活用(在校生への経済支援)
- 専門実践教育訓練給付制度の活用(社会人入学生への経済支援)

# 令和5年度課題と取り組み

在籍者数及び入学者数確保、国家試験合格率向上、  
進路指導、改正カリキュラムの円滑な運営

- 学生個々の状況に応じた学習支援強化
- 学生募集活動の推進
  - ① 高校訪問及び社会人志願者への広報活動の拡充
  - ② 同窓会組織の活発化(HP活用による運営等)
- 第113回看護師国家試験合格率向上への対策
- 日鋼記念病院及び天使病院への必要な就職者数確保の推進
- 改正カリキュラムの円滑な運営
  - ① 授業(講義・演習・実習)の充実に向け関係部署との連携
  - ② 電子テキスト導入後の円滑な運営
  - ③ 模擬患者ボランティアの体制整備
- 創立35年記念事業(校歌制定・記念講演会等)

# 令和4年度自己点検・自己評価 結果

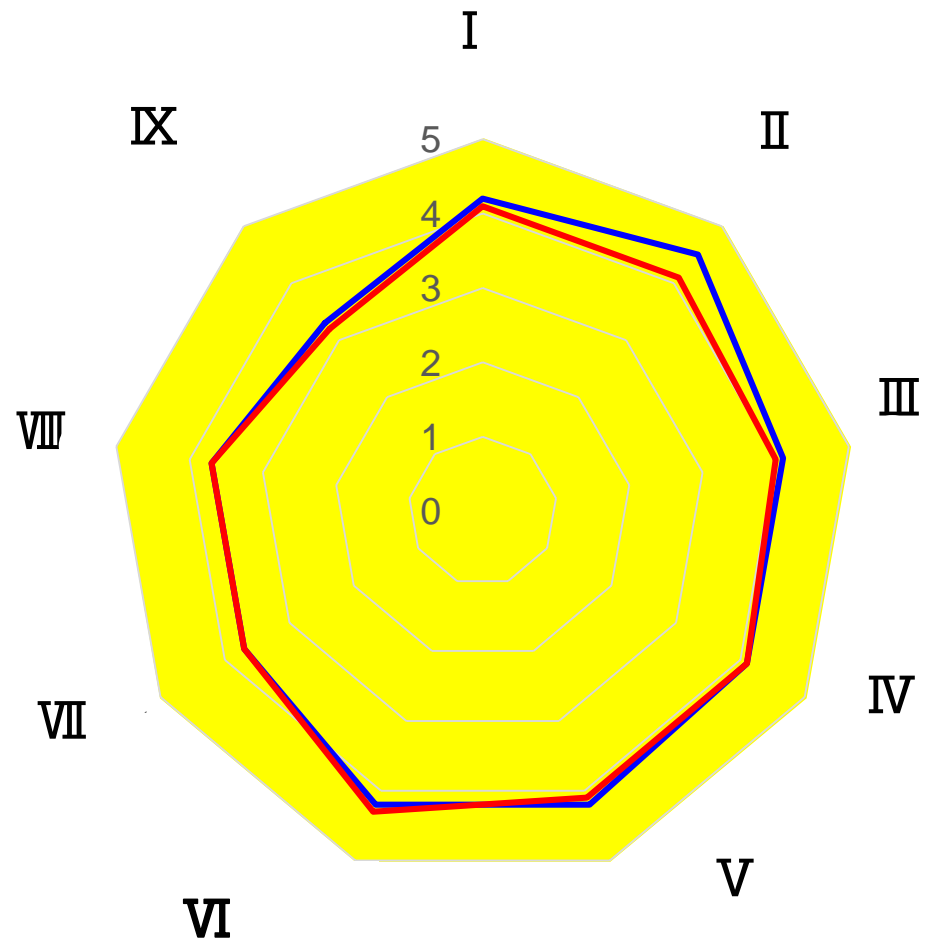
---

- ・ 調査対象 : 専任教員(教務主任含む)11名
- ・ 調査時期 : 令和5年2月
- ・ 調査内容 : 本校指定の自己点検・自己評価表  
(9項目94質問)
- ・ 5段階評価 : 5点「そう思う」  
4点「ややそう思う」  
3点「あまりそう思わない」  
2点「そう思わない」  
1点「わからない」

# 9項目

令和3年度 ————  
令和4年度 ————

- I. 教育理念・教育目的
- II. 教育目標
- III. 教育課程經營
- IV. 教授・學習(講義・  
演習・實習)・評価課程
- V. 經營・管理過程
- VI. 入学
- VII. 卒業・就業・進学
- VIII. 地域社会・国際交流
- IX. 研究



# I 教育理念・教育目的

I-4「看護教育についての考え方：養成する看護師の質を保証するために、どのような教育内容・教育方法・教育環境を整えようとしているかが述べられている」や I-5「学習・教育観と学生観：看護・看護教育・学生観について、教員の教育活動の指針となるように明示され実際の指針となっている」に課題がある。このことは、**新カリキュラム編成において課題として見直しがなされ、教育理念、教育目的、教育目標、卒業時の到達度との関連性を持たせ学生が理解できるようなものとして変更したが、教員全体への周知に至らなかった。教員、学生共に理解が深まるよう、学校行事などを通して本校の理念、学ぶ意味、行動指針を考える機会を提供していく。**

## Ⅱ 教育目標

---

昨年度4.1に対し、4.5と評価得点が大きく上回った。これは新カリキュラム編成において課題として見直しが行われ、実現可能で学生や様々な方が理解できるものとして変更したことが周知されつつある。

## Ⅲ教育課程経営

評定平均4.1と昨年度よりも上回った。教育計画を基に適切に遂行できていると考える。しかしⅢ-19「教員が授業準備のための時間を取れる体制を整えている」が昨年と同様に低い数値を示す。コロナ禍で講義や実習方法の変更、非常勤講師の調整など、即時的に対応する必要があり、教員の業務量の増大や負担感などが高まったと推察される。また、常に学生の様々な状況の変化に即時的な対応を迫られており、「授業準備時間」として確保することが難しい。Ⅲ-22「臨地実習施設は、本学校の個別の教育理念・教育目的・教育目標を理解している」やⅢ-23「臨地実習施設は、学生の看護実践の実習を支援する体制を整えている」について、このことはコロナ禍による臨地実習受け入れ状況が感染対策を講じながら少しずつ安定しつつあることが推察される。今後もcovid-19の地域の感染状況の経過をみながら実習受け入れ施設との調整を継続していく必要がある。



## IV 教授・学習・評価過程

教育計画を基に適切に遂行できている。IV-8「学生に対し効果的な教育・指導を行うために、実習指導者や教員間の協力体制を明確にしている」や、IV-13「教育目標の達成状況を多面的に把握している」が低得点となっている。Covid-19の影響から急な実習方法の変更により協力体制を整えていくための調整が難しかったことが推察される。また、学生及び教育活動の多面的評価に向け、多様な評価の方法を取り入れられるように評価計画を検討し、目標の達成状況を捉えられるようにしていく。

## V 経営・管理過程

学校の組織体制や意思決定システム、役割機能などについて理解した教育が出来ている。しかし、施設の老朽化に伴い整備が滞り、課題となっており、施設整備に関する計画的な対応が可能となるよう検討していく。災害時対応の行動レベルのマニュアルを作成し災害対策の整備点検を行ったが、COVID-19感染状況が落ちつかず全体訓練が延期となっている。今後、感染が収束し訓練を実施し安全確保体制を強化する必要がある。また、感染予防については、日鋼記念病院との連携により常に最新の情報を基に、学生の感染予防に対する意識向上を図ることで一定の成果を得ることができた。

# V 経営・管理過程

学校の情報提供については、オープンスクールをWebで開催、また個別に学校見学を受入れ当校の魅力をアピールすることができた。広報活動についても、Fmビューや、病院Twitterなどに取り上げていただき、活動の拡大に務めた。また胆振地域はもとより周辺地域への学校訪問、進学相談会を通して当校の説明を行った。次年度は個別見学会と共に感染対策を講じて対面でのオープンスクール開催も検討していく。

# Ⅵ入学

看護学校を取り巻く環境は、少子化、大学志望により受験生が年々激減しており**入学者確保に難渋**している。

今年度の受験者数・入学者数の減少の動向などや効果的な広報活動の工夫を検討するなど、次年度に備える必要がある。

入学者選考方法、試験内容の検討を継続して行う。

## Ⅵ卒業・就業・進学

当校は日鋼記念病院に6～7割が就職しており、直接近況報告に来られる卒業生も多く口頭での情報収集が主であったが、コロナ禍により卒業生の訪問も制限するなど交流が持てない状況が続いている。今後、感染状況を鑑み卒業生の動向について調査体制を整える必要がある。

今後、新たなカリキュラム編成に基づいて、見直した教育目標、学年別到達目標や評価方法を検討する必要がある。まずは、卒業生の実践力や卒業後の実態調査の把握に向けて就職先看護部とも調整し検討する。

## VIII 地域社会・国際交流

---

当校は留学生の受入れはしていない。そのため国際交流のための体制整備の進捗が滞っているが、今後海外で就業するために必要な手続きについての取り決め事項など明文化すること、海外で活躍する卒業生の動向を紹介し、国際交流に向けた情報を教職員とともに学生へ発信していく機会について検討する。

# 区研究

---

コロナ禍という状況ではあったが、今年度も研究活動を看護研究グループを中心に行っている。授業担当の状況により全教員が研究活動を行えていない状況もあり、研究活動の保障や助言・検討する体制の整備が滞っている。今後も全教員が取り組めるような支援を検討していく。



# 質疑応答

---



# 令和5年度 学生支援トピックス 1

# 目次

1. 新カリキュラムにおける地域・在宅実習 I 実習施設の拡充
2. 対面によるオープンスクール&日鋼祭開催
4. 10年ぶりの看護師等養成所指導調査
5. 日鋼記念看護学校創立35周年記念式典開催

# 1. 新カリキュラムにおける地域・在宅実習 I 実習施設の拡充

市内5カ所の  
子ども食堂ボランティア参加





# 対面によるオープンスクール&日鋼祭開催



生徒83名、保護者7名  
在校生保護者40名／  
合計130名

# 看護師等養成所指導調査

2023年10月19日、20日 2名の調査員が来校

10月19日:9:30～書類調査

13:00～学内調査(指定規則に沿った教室内、備品などの確認)

10月20日9:30～書類調査、ヒアリング

15:30～講評

講評 1. JCHO登別病院法人名変更、施設移転に伴う、変更書類の未提出

2. 非常勤講師資格証書等の不備

1. 2については今後提出予定

3. 書類が適正に管理されている

4. 物品類の整備や管理が適正にされている

5. 学生の雰囲気があること、退学者が少ないことが素晴らしい



# 日鋼記念看護学校創立35周年記念式典



日鋼記念看護学校  
創立35周年記念式典

日 時：令和5年11月24日(金) 13:30～16:40  
開催方法：YouTubeにてライブ配信

## Program

### 第1部 記念式典 13:30～14:00

学校長式辞  
理事長挨拶  
校歌披露

### 第2部 記念講演 14:10～15:10

「看護の魅力～大切にしていること、  
そして大切にしてほしいこと～」  
菅原 邦子 天徳大学 理事・教授

#### YouTube 配信について

当日の式典はYouTubeにてライブ配信  
いたします。次のQRコードをダウンロード  
いただけます。YouTube動画に繋が  
ります。配信開始時刻は、11月24日(金)  
午後10時からです。



なお、式典終了後のアーカイブ配信は、  
11月25日(金)より11月30日(木)までと  
させていただきます。

#### 【問い合わせ先】

日鋼記念看護学校  
〒190-0005 東京都荒川区1丁目1番1号  
03-3841-1111  
招生課 担当

### 第3部 シンポジウム 15:20～16:40

「わたしのキャリアデザイン  
～未来の看護を創造する～」

#### ～ 卒業生シンポジスト ～

- 長谷川 博亮 (1期生)  
旭川医科大学 医学部看護学科 精神看護学教授
- 池田 昌子 (1期生)  
日鋼記念病院 病看護部長
- 内田 智美 (2期生)  
千葉県仁倉病院 病看護部長 認定看護管理者
- 工藤 美香 (5期生)  
社会福祉法人 泉堂 看護小児科 事務総長 認定看護師  
認定看護管理者
- 西島 勝巳 (6期生)  
日鋼記念病院 看護管理 看護部長
- 高江洲 亜利沙 (12期生)  
札幌協心病院看護部長 認定看護師(応用・保健ケア)

#### ～ 在校生シンポジスト ～

- 大島 千歩 (34期生・3年生代表)
- 羽生 未紗 (35期生・2年生代表)

## いばりトピックス

23-2103 ● 昭信中部支社(登別)/0143-85-4530 ● 白老 苫小牧支社/0144-82-2484 ● 本社/0143-22-5123



校歌を初披露する看護学生

# 念願の校歌 高らか



日鋼記念看護学校(伊藤真理子校長)の創立35周年記念式典が24日、室蘭市新野町の同校で開かれた。開校時から校歌がなく、念願の校歌が完成し初披露。道内各地で活躍する卒業生の講演も行われた。

## 講演やシンポジウムも

同校は1988年に開校。35年間で2012年の卒業生を輩出。式典は3部制で開かれた。式典で初披露された校歌は立野真菜学院の立野子校長が作詞、室蘭出身の桐朋学園大学作曲科教授・土田英介さんが作曲した。式辞で伊藤校長は念願の校歌について「看護への思いがふれる気持ちを感じることが嬉しい」と述べて、8年生の大会卒業生さん(2)は「いい歌詞だと思った」「試験の時のりえ」と歌詞にあるが、これから友人たちと携り感えていくのだと実感した」と話した。

2部では札幌市の天徳大学菅原邦子教授が「看護への魅力」大切にしてほしいこと」とテーマに講演。3部では卒業生の講演で、卒業生と在校生の8人による未来につながる看護を夢見るシンポジウムが行われた。

学生を初披露する校歌への思いを語る伊藤校長

室蘭・日鋼記念看護学校35周年式典



# 校歌

日鋼記念看護学校 校歌

立野了子 作詩  
土田英介 作曲

一

地球岬のほとり  
春の日の坂道 八重桜  
希望という光にみちて  
看護の道を志す  
やさしく明るい友が集う  
笑顔があふれる 清き学び舎

二

めぐりめぐるよ季節  
逃げたくなるよな、強風も  
仲間となら 追い風になり  
共に向かおう、未来へ  
いのちの尊厳 人類愛  
真摯に向き合う 清き学び舎

三

登り終えた坂道  
宣誓の灯(ともしび)、今続く  
試練の時 のりこえて  
一步前へ 踏み出す  
追い求めた豊かな感性  
看護と創造 我らの絆

# 第1部 記念講演

35周年記念式典  
Live



# 第3部 シンポジウム

35周年記念式典

Live



35周年記念式典  
Live





35周年記念式典  
Live

長谷川 博亮 氏

35周年記念式典  
Live

池田 昌子 氏



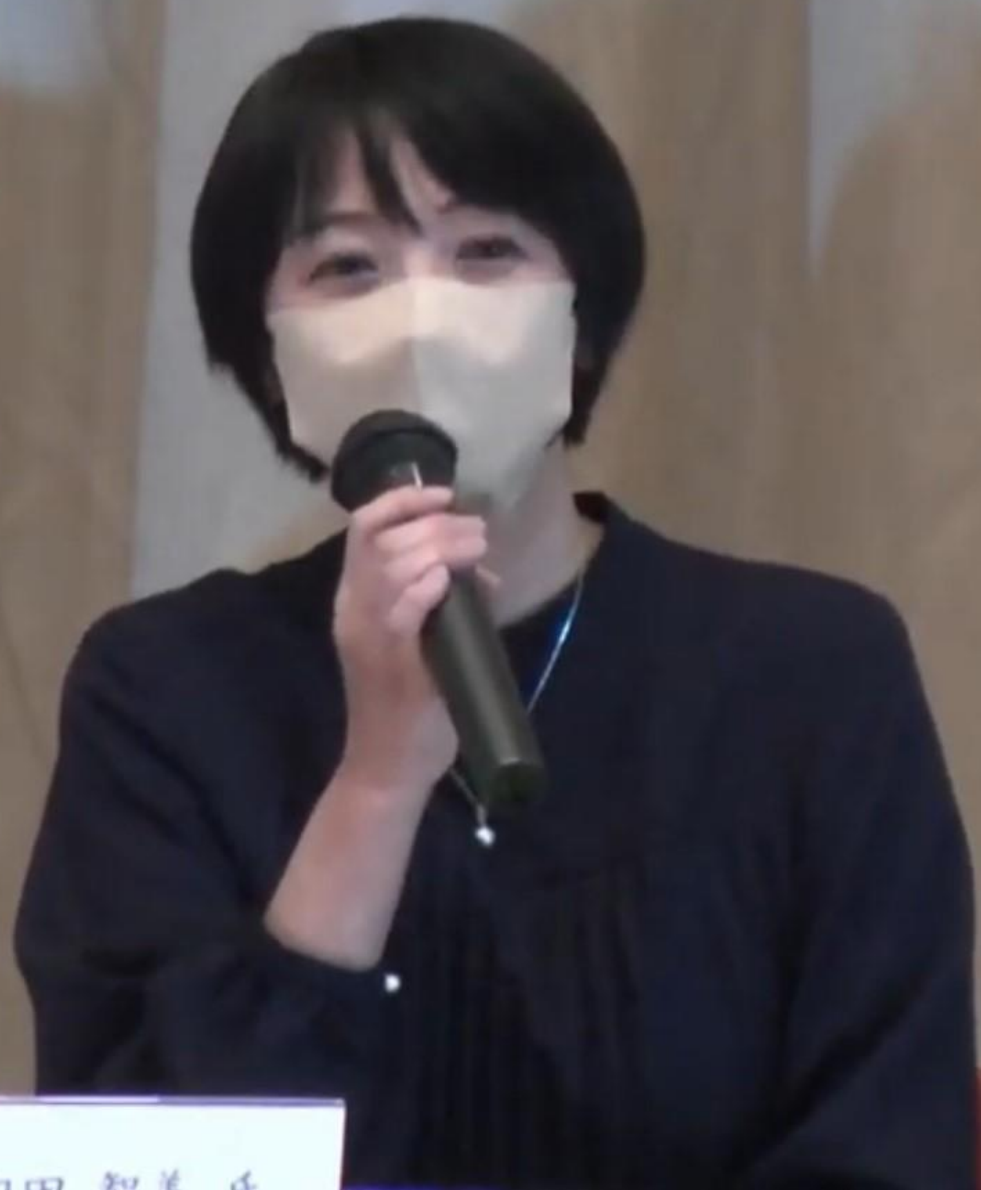
35周年記念式典  
Live

西島 勝巳 氏

35周年

工藤 美香 氏





山田 知美 氏



35周年記念式典  
Live



羽生 未紗 氏

大島 千歩 氏

35周年記念式典  
Live





35周年記念式典  
Live



# その他

---

# 意見聴取

---